

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門分野Ⅱ	老年看護学概論	1	15	1年次	1月	東垂水朋子
授業概要						
急速な高齢化が進むなか、看護における高齢者と関わる機会も増えていくことから、高齢者の加齢に伴う様々な変化や、それに伴う生活への影響の理解が必要となってくる。老年看護学概論は、高齢者と高齢者をとりまく社会について理解を深め、高齢者の自立・自律した生活への支援につなげることを学ぶ。						
科目目標						
老年期にある対象の特徴と健康や生活の多様性を理解する。高齢社会における保健医療福祉の連携における看護が果たす役割と機能を学ぶ。						
使用教材						
テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学，医学書院 考文献等：国民衛生の動向 国民の福祉と介護の動向，高齢者白書						
評価						
筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	1. 老年期の理解 1) 老年看護学の学習の目的時代背景 2) 老いとは (1) 加齢と老化 (2) 老いの受け止めかた 3) ライフステージからみた老年期の理解 (1) 老年期とは (2) 老年期の発達課題 (3) 人格と尊厳 (4) 喪失体験 (5) 高齢者のスピリチュアリティ 4) 加齢に伴う変化の特徴とその生活への影響 (1) 身体的機能 (2) 認知機能 (3) 心理・情緒機能 (4) 社会的機能 【実技：高齢者疑似体験】 5) 高齢者の性 6) 生活の視点からの老年期の理解 (1) 生活構造 (2) 生活のリズムと生活習慣 (3) 役割と社会活動・余暇時間 (4) 家族・世帯構成 (5) 住宅と環境 (6) 就労と雇用 (7) 収入・生計 7) 高齢者の多様性					講義 実技
2時間・1回	2. 高齢社会の保健医療福祉 1) 日本及び世界の人口高齢化の特徴とその影響 2) 高齢社会がもたらす保健医療福祉の課題 3) 健康指標からの老年期の理解 (または高齢社会の医療保健福祉の動向) (1) 平均寿命・健康寿命(2) 疾病構造と有病率・有訴率 (3) 受療行動・受療の動向 (4) 要介護高齢者の出現率と動向 (5) 死亡率、死因、死亡場所					講義
4時間・2回	3. 老年看護の理念・目標 1) 老年看護学の考え方（老年看護の定義と役割） 2) 高齢者の QOL (1) 高齢者の尊厳と権利擁護（アドボカシー） (2) ノーマライゼーション (3) 自立支援とエンパワーメント					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門分野Ⅱ	老年看護学概論	1	15	1年次	1月	東垂水朋子
時間・回数	授業内容					方法
	3)老年看護学における倫理的課題 (1)自己決定 (2)エイジズム (3)高齢者虐待 4)老年看護に期待される役割と場の広がり					
2時間・1回	4.高齢者にとっての健康 1)老年期の健康のとらえ方 2)高齢者の健康の特徴 3)生きがいと生活の満足感					講義
1時間・1回	筆記試験 (45分間)					
備考						